



トヨタ自動車株式会社 新型ボート『PONAM-35』発売!!

～総勢200人に及ぶプレス発表会をレポート～



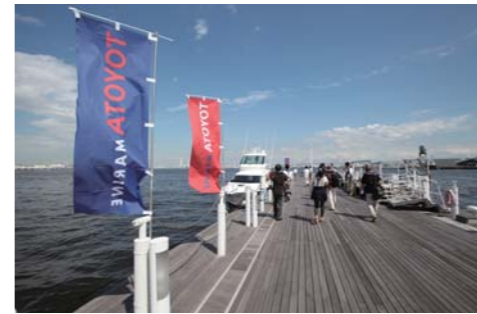
記者会見には佐々木副社長も出席され、自ら報道陣に対して説明されていた。



左から、マリン&ユニット事業部チーフエンジニア 池田光男氏、代表取締役副社長 佐々木真一氏、マリン&ユニット事業部部长 本郷俊昭氏。



イベントは3日間で行われ、計200人の報道陣が取材に訪れた。改めてトヨタ自動車のマリン事業に対する注目度の高さを実感することが出来た。



試乗会の様子。参加者はPONAM-35に真剣な眼差しを向けていた。



当日はテレビカメラの取材も来ていた。お洒落な横浜の港にPONAM-35が良く似合っている。



船の特長に対して質問をする参加者。試乗中は多くの質問が飛び交っていた。



参加者は実際に試乗してPONAM-35の乗り心地の良さを体感していた。



着岸の準備に入るスタッフ。参加者に誠実に説明をされていて、新艇に対する熱い思いが伝わっていた。



佐々木副社長自らトヨタドライブアシストを使ってスムーズに着岸を行っていた。



海面を優雅に漂うPONAM-35。外観は他艇とは一線を画した流麗なフォルムである。



当日はPONAM-45の試乗会も行われていた。貫禄さえ感じられるPONAM-45も相変わらず評価が高いようだ。

今回ご紹介するのは、トヨタ自動車が満を持して開発した新型ボート「PONAM-35」。6年振りの新艇ということで、編集部はトヨタ自動車の新艇をこの目で見られる興奮を抑え、9月6日(火)に記者発表及び試乗会の行われる横浜へ向かった。記者発表当日の会場にはトヨタ自動車の佐々木真一代表取締役副社長の姿も。トヨタ自動車のマリン事業に対する意気込みの強さがひしひしと伝わってくることも、改めてこの新艇をことごとく取材したいと感じた。今回発表されたPONAM-35はPONAMシリーズの新しいクラスのプレジャーボートであり、快適なクルージングや本格的なフィッシングを楽しめ、心地よく滞在することも出来る「プレミアムクルーザー」として、今年注目の新型ボートのひとつである。外表面では

カーデザインのノウハウを活かし立体的なフォルムや曲線美を追求し、船首から後方へ流れるように描くガンネルラインなど、PONAM-35独自の流麗なエクステリアデザインを実現している。内装面では全幅が3.94mあるため、従来のPONAM-28L(2.95m)と比較すると広い分ゆったりと落ち着いた空間となっていた。また、キャビン内の色調はホワイトとブラックのコントラストを基調としつつ、ブルーを効果的に加えることでPONAM-35独自の高級感が演出されている。船体を覆うアルミハルには高強度アルミ合金を採用し波の衝撃や振動及び音の反響の低減を実現している。エンジンにおいては、トヨタ「ランドクルーザー」の4.5ℓV型8気筒コモンレール式ディーゼルエンジンを船舶用に改造し2機



搭載することで、高出力と低ミッションの両立を可能としたほか、低振動・低騒音を実現し静粛性も大幅に向上させた。操船性に関しては、船体の傾斜補正（フラップ操作）をトヨタ自動車独自の制御技術で自動化する「オートフラップ機能」を搭載している。これはセンサーが船体の傾斜を感知し、フラップが作動することで船体を常に最適な姿勢に制御出来るため、波当たりによる衝撃を緩和する優れたものだ。他にも補助プロペラであるパウラスターと2つのプロペラの動きをコンピュータ制御し、ジョイスティック1本で離着岸の操作を可能とする「トヨタドライブアシスト」を装備している。このジョイスティックがあれば熟練者にも難しい離着岸といった操作を経験の浅い操船者でも簡単に行うことが可能だと感じた。PONAM-35は東京・名古屋・大阪の直営営業所と全国のトヨタマリン販売店50社を通じて、発売中である。価格は5,901万円(税込み)、年間販売目標は15隻を予定している。

PONAM-35

■諸元表・価格表

全長/全幅	: 11.95m/3.94m
エンジン型式	: M1VD-VH
エンジン出力	: 272kW(370PS) x 2基
ハル	: アルミ合金製
燃料タンク容量	: 850リットル
清水タンク容量	: 170リットル
定員	: 12名
フライブリッジ	: 5名
航行区域	: 沿海
本体メーカー希望 小売価格	: 59,010,000円(税抜56,200,000円)



トヨタオリジナルマルチメーター。見やすくカラフルなデザインとなっている。



広々としたキャビンはトローリングのタフなひとときは、対照的な時間を演出してくれる。



キャビン内にはロアヘルムが設置されており季節や天候に左右されない、快適な操作が可能となっている。



高級感のあるコックピット。ここに立つだけで気分が高揚してくる。



パウラスターに確保されたオーナーのプライベートスペース。自分だけの快適な時間を楽しむことが出来る。



キャビン奥に配されたギャレー。広々とした調理スペースが確保されている。